

No.1628 2019年(平成31年)2月4日号

物流 Weekly

躍進する 女性陣

第580回



ユーエイ 宮下幸美さん

ユーエイ(雄島耕太社長、大阪府東大阪市)の新商品企画室に所属する宮下幸美さん。昨年6月に入社して約半年、ものづくりの喜びを感じる日々だという。取材当日、宮下さんは同社のブランドカラーである赤色の新調された作業着を、素敵に着こなして

新製品のアイデア出せるよう

が、チャレンジしたいと思っ
た」と振り返る。10年以上ものづくりに携わってきた。「製品が思い通りの形となった瞬間に達成感を味わうことができる。製作途中で失敗が出ることもあり、商品試験のことを夢に見ることもある」と笑う。今年春に販売が開始される段差乗り越えキャスターの開発に携わった。「一つひとつのパーツに思い入れがあり、ようやく世に出るのを感じ、入社を決意した。キャスターについては未経験だったさまざまな分野で使われると思うと、この上ない喜び」

いた。

が、チャレンジしたいと思っ

た」と振り返る。

うにしている。同社に入っ

前職は住宅や店舗施設向けの設備機器メーカーの開発部署にいた。前職時代に現在の上司である羽田智樹課長と仕事を共にする機会があり、

10年以上ものづくりに携わってきた。「製品が思い通りの形となった瞬間に達成感を味わうことができる。製作

途中で失敗が出ることもあり、商品試験のことを夢に見ることもある」と笑う。

から、若い世代や中核となる層が厚く、勢いのある社風を肌で感じるといいます。「部署を超えてのコミュニケーションが取れているので、思いを伝え合えている。皆がポジティブに仕事ができるのは魅力」

の設備機器メーカーの開発部署にいた。前職時代に現在の上司である羽田智樹課長と仕事を共にする機会があり、

わってきた。「製品が思い通りの形となった瞬間に達成感を味わうことができる。製作

今年春に販売が開始される段差乗り越えキャスターの開発に携わった。「一つひとつのパーツに思い入れがあり、ようやく世に出るのを感じ、入社を決意した。キャ

今後の目標は、「市場調査を行い、自分から新製品のアイデアを出せるようになった。来年度は人材も増える予定なので、ますますパワフルに仕事をすることができればと明るく語る。プライベートに関しては、普段から車を運転するなどアクティブ派だが、「身体を動かす趣味を見つけた。心身共に鍛えて、何事にも全力で取り組むのが目標と話した。(木村麻理奈)

仕事を共にする機会があり、

を味わうことができる。製作

今年春に販売が開始される段差乗り越えキャスターの開発に携わった。「一つひとつのパーツに思い入れがあり、ようやく世に出るのを感じ、入社を決意した。キャ

今後の目標は、「市場調査を行い、自分から新製品のアイデアを出せるようになった。来年度は人材も増える予定なので、ますますパワフルに仕事をすることができればと明るく語る。プライベートに関しては、普段から車を運転するな

仕事を共にする機会があり、

を味わうことができる。製作

今年春に販売が開始される段差乗り越えキャスターの開発に携わった。「一つひとつのパーツに思い入れがあり、ようやく世に出るのを感じ、入社を決意した。キャ

今後の目標は、「市場調査を行い、自分から新製品のアイデアを出せるようになった。来年度は人材も増える予定なので、ますますパワフルに仕事をすることができればと明るく語る。プライベートに関しては、普段から車を運転するな

仕事を共にする機会があり、

を味わうことができる。製作

今年春に販売が開始される段差乗り越えキャスターの開発に携わった。「一つひとつのパーツに思い入れがあり、ようやく世に出るのを感じ、入社を決意した。キャ

今後の目標は、「市場調査を行い、自分から新製品のアイデアを出せるようになった。来年度は人材も増える予定なので、ますますパワフルに仕事をすることができればと明るく語る。プライベートに関しては、普段から車を運転するな

仕事を共にする機会があり、

を味わうことができる。製作

今年春に販売が開始される段差乗り越えキャスターの開発に携わった。「一つひとつのパーツに思い入れがあり、ようやく世に出るのを感じ、入社を決意した。キャ

今後の目標は、「市場調査を行い、自分から新製品のアイデアを出せるようになった。来年度は人材も増える予定なので、ますますパワフルに仕事をすることができればと明るく語る。プライベートに関しては、普段から車を運転するな

仕事を共にする機会があり、

を味わうことができる。製作

今年春に販売が開始される段差乗り越えキャスターの開発に携わった。「一つひとつのパーツに思い入れがあり、ようやく世に出るのを感じ、入社を決意した。キャ

今後の目標は、「市場調査を行い、自分から新製品のアイデアを出せるようになった。来年度は人材も増える予定なので、ますますパワフルに仕事をすることができればと明るく語る。プライベートに関しては、普段から車を運転するな